



~依頼者に寄り添える弁護士を目指して~

弁護士を目指したきっかけ

村上(M): 喜多先生, 尾崎先生とは普段, 案件のことばかりを話しているので, 今回は, 案件以外の話を出来ればなと思っています。早速ですが, 先生方が弁護士を志そうと思ったきっかけはどんなことでしたか?



喜多(K): 僕が弁護士を目指したのは、人の助けになるよう な仕事をしたいと思ったことがきっかけです。学

生時代に将来就く仕事について考えたときに、それができるのは弁護士の資格だと思いました。自分も周りの人に助けられて生きてきたので、自分の人生を、自分のためだけにではなく、人のために何かできることを探していました。あと資格を取っていたら、社会で生きていけるとも思いました。人のために何かをするには、自立も大事ですからね。

尾崎(0): 僕は、弁護士の「実務家」としての側面に憧れて、この仕事を選びました。抽象的な法律論だけにとどまらず、実際に起こっている紛争について、適切なアドバイスができる「実務家」になりたかったんです。

M: なるほど。法律は抽象的な規範を示すだけで、実際に紛争を解決するためには別の思考が必要ですからね。尾崎先生は「実務家」のどういったところに憧れたの?

O: そうですね、実際の事件は、「法律がこうなっています」の一言で割り切れるものではないです よね。法律相談に行って、「法律上あなたが全て正しい」と言われたとしても、問題は解決しま せん。大抵、「じゃあ実際どうすればいいの?」という悩みを抱えることになります。「どうす ればいいのか」に対して、選択肢を吟味し、最善の選択を提案・遂行することが実務家の仕事 だと思っています。こういった建設的な仕事ができる点に憧れました。

M: そうなんですね。先生方ともに良い志を持ってこの仕事に就いたんですね。僕は親族が法律的なトラブルに巻き込まれて、その中で、身近に弁護士さんがいればこんなことにならんかったんかな、と思ったことが動機でした。だから、依頼者の立場・依頼者の目線に立つことを普段から心がけています。これからも、依頼者にとって身近な弁護士を目指すという初心は大事にしたいと思いますね。



弁護士として弱い立場を守る活動

M: 当事務所は、企業法務・遺言・相続・後見・交通事故・ 不動産・離婚・債務整理など幅広い案件に対応してい ますね。特に最近は高齢化社会のあらわれか、遺言・ 相続や後見が増えてきているなと思うけれども、先生 方は今後、力を入れていきたい分野はありますか?



- K: そうですね、僕は、離婚や相続などの家庭問題・住まいや事業に欠かせない不動産の案件に力を入れていきたいと思っています。そうすることで人の生活にかかわる法律問題を解決できるようにしたいです。
- O: 僕は、日常的に生じ得る問題に加えて、労働事件・消費者事件などの分野にも力を入れたいです。立場の弱い方を守りたいという思いは、弁護士を目指した当時の初心でもありますので、大切にしたいです。

K: あと,公益的な活動として,自然保護に関わる仕事も

できればと思っています。大阪弁護士会の公害対策環境保全委員会に入って、勉強させてもらっています。日本環境法律家連盟(JELF:ジェルフ)に入って、環境保護に取り組む NPO や NGO に寄付する遺言のプロジェクトに参加しました。自然に囲まれた田舎育ちなので、将来の世代に豊かな自然を残してあげたいという気持ちから活動しています。

M: 先生方それぞれ強みにしていきたい分野があると思いますが、どんどん経験を積んで、これからも、依頼者に寄り添える、地域密着の事務所にしていきましょう。

共通の趣味を通じてのコミュニケーション

M:日々、たくさんの案件対応をしていると毎日一日があっという間に過ぎていくのですが、先生方はどんな休日を過ごされているんですか?僕は、空いた時間は家族、子供たちとの時間でほとんど埋まってしまいます。



- 0:休日は良きパパとして過ごされているんですね。
- M: なかなか自分の時間が作れないというのが悩みですけど、先生方と始めたフットサルが体を動か す良い機会になっています。
- K: 僕も、体を動かすことも好きなので、フットサルはいい時間になっています。事務所のフットサルチーム「モリカド LO」(LO: Law Office の略) もできましたしね。
- M: そうですね。モリカド LO のユニフォームも作りましたね。日ごろの運動不足の解消にもなりますし、仕事に励む気力と熱意も維持・向上できますよね。地域チームとの交流で弁護士を身近に感じてもらえるかなとも思っています。
- 0:フットサルチームができたのもそうですが、普段の仕事の中でも、事務所内のコミュニケーションはすごく活発ですよね。難しい案件に直面したとき、事務所内の意見交換を通じて、新たな視点に気付かされることもあります。本当に有難いですね。

地域の皆様のパートナー

M:よく聞く話ですが、一般的には、やはり弁護士と言うのは遠い存在に感じられてしまいがちですよね。

- K:確かにそうですよね。弁護士へ相談するのは敷居が高いと感じておられる方もいらっしゃるでしょうね。当事務所は、地元密着型・依頼者満足を第一に掲げて、依頼者に寄り添っていくことを心掛けているので、お困りの際には気兼ねなくご相談に来て頂きたいです。
- 0:本当にそうですね。数ある法律事務所の中で、地域密着の当 事務所を選んでいただいたわけですから、相談者の方にとっ て身近な存在でいたいと思います。

